



7月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2026年 7月1日

****保育目標 照育 一おそだて一**
*ほとけさまや、周りの人たちにありがとうの感謝の気持ちを持つ。
*体を十分使って、水遊びや夏のあそびを友だちと楽しむ。

【法話】

お経きょう
「きーみょーうむーりょーう
じゅによらいー
なーもーふーかーしーぎーこー」

梅雨があげると、今年の夏もこれからどんどん暑くなる予報ですね。熱中症や食中毒なども心配され、体調管理が難しい時期です。これからの夏の暑さに向けて、栄養・水分・睡眠時間がしっかり整うよう心掛けないといけません。

保育園の礼拝では、「お正信偈」の最初の二句を歌にした「幼児のおつとめ」を、みんなで大きな声で、おつとめしています。

「経」って何でしょう？お経は亡くなった人のために読むとか、お経を読むと良いことがあると思っている人がいますが、そうではありません。事故に遭わなかったり、病気が治るわけでもありません。お経は、呪文でも、おまじないでもありません。お経は、お釈迦さまがお話しされたことを、あとに残すために、後の人たちが、文字を作り、文字にしてくださったものです。

お釈迦さまは、今から二千五百年の昔、老若男女、いろいろな人々に、たくさんのお話をされました。その仏さまのお話、真実の教えが説かれているのがお経なのです。生きている私のための教えが説かれているのですから、私が聞かせていただかなくては意味がありません。でも漢文に訳されたお経は難しいですから、私たちは「ご法話」を聴聞してお経のお心を聞かせていただきます。

お経を仏さま（阿弥陀如来さま）に向かって読むのは、仏徳讃嘆です。阿弥陀さまのお徳を讃嘆（ほめたたえ）させていただき、お経のお心をいただきます。合掌



ありがとう！パパ先生、ママ先生 ～うさぎ・りす組参観日ウィーク～

先月は、保護者の皆さんに子ども達といっしょに保育園生活を半日「パパ先生、ママ先生」として過ごしていただきました。子ども達も“お母さん・お父さんといっしょに！”が実現でき、嬉しさを隠せず、たくさん笑顔を見せてくれました。

入園・進級当初は保護者の方と離れることに不安を感じていた子どもたちも、今では保育者や友だちとの関わりを楽しみながら、自分でできることが少しずつ増えてきました。参観日中も「これして遊ぶ！」「みよってよ！」と、自慢げな言葉も聞こえ、あんなに涙していた子どもたちが自ら遊びを選んで、保護者の方に遊びを披露する姿に、大きな成長とたのしみを感じました。毎日入れ替わりでお友だちのお母さんやお父さんが保育室にいて、「今日はぼくのママがいない…」と、お家の方を思い出して涙が出るかな…と思っていたが、そんな保育者の想像を超え、ママ先生・パパ先生に駆けよっていき姿に、子どもたちにとっては、この期間たくさん大人と触れ合い、たくさんの愛情を受け取れるとても良い機会なんだと感じました。

パパ先生と手を繋いで追いかけてくる姿、手伝ってほしいことがあると「やって」と、そっとママ先生に手を差し出す姿、絵本を読んでもらいたくて、膝の上に自ら座って絵本を読んでもらう姿はとても微笑ましく、心温まるものでした。保護者の方も我が子だけでなく他のお友だちをたくさん気にかけて下さり、「すごい！できたね！」「がんばれ！」と、子どもたちのやる気と意欲を引き出す言葉をたくさんかけて頂き、子どもたちにとっても”できた”という自信につながる温かな時間となりました。

今後も引き続き口頭やブログ等で日々の様子・子どもたちの成長を発信していきますので、温かく見守ってください。保護者の皆様とともに子どもたちの成長を喜び合える、かけがえのない時間をありがとうございます。

